

寡黙の偉人・杉原千畝

NPO杉原千畝ー命のビザ 金尾 直美 (広島県出身)

岐阜県の生み出した近代の偉人・杉原千畝氏にまつわることを書かせていただくことになりました。

杉原千畝の生誕地は八百津町で、唱歌「ふるさと」の歌詞をそのまま髣髴させる自然に恵まれた美しい土地柄です。先日八月六日には町主催の「杉原ウィーク・星空コンサート」が行われ、私も観客の一人として参加させていただきました。メイン・ゲストは著名な歌手のかたでしたが、地元中学の生徒十六名がこの夜のために研鑽を重ねたのであろう合唱をする姿により心を打たれました。また来賓挨拶で、八百津町に常駐されておられるユダヤ人女性が「先の戦争の時代、ヨーロッパ中がユダヤ人を見殺しにしているとき、日本人の杉原さんだけが私たちを救ってくれました。．．．私たちユダヤ人は杉原さんのことは決して忘れません。私たちは杉原さんの偉大な精神を語り継いでゆきます」と人道の丘公園にお集



八百津町在住
ユダヤ人メイトタルさん

まりの大勢の聴衆に向けて語っておられたのも印象深いものがありました。

欧州での第二次世界大戦勃発直後に、リトアニア領事代理・杉原千畝がユダヤ難民に対して行ったビザの発給につきましては広く知られるところとなりましたが、杉原千畝という人物の全体像のよつなものは、まだまだ日本国内におきましても知る人が少ないのが実情です。私どものNPOは、杉原千畝の人道的功績を多くの方々に知っていただくことを活動の目的としておりますのは勿論ですが、さらにスギハラ・チウネの普及が我が国の国益にかなうものなのではないかと思っております。

「国益」などと申しますと、大仰な物言いではありますが、海外で知られている日本人となりますと、実際には芸術家の方々ばかりです。映画監督の黒澤明さんや指揮者の小澤征爾さんなどはつとに有名ですが、歴史上の人物となりますとさっぱりとの感があります。それには当然ながら大きな理由があります。海外の人々に知られるには、世界史の中に登場する必要があります。端的すぎる表現にはなりますが、世界史とは繰り返される戦争(紛争)とそのち訪れた平和とを列記するものですから、海外で長く語り続けられるには、歴

史上(ことに欧米史)の紛争と平和に深く関与することが肝要となります。

杉原千畝がリトアニアの地で行ったユダヤ難民に対するビザ発給行為は、本人の意志とは無関係に、ナチス・ドイツによる有史以来人類が犯した最大最悪の罪業ともいふべきホロコーストにまつわる歴史が語り継がれてゆく中で、ナチスの非人間性の対極のできごととして同じく語り継がれてゆくこととなります。杉原千畝は、人類が記憶し続ける歴史的な大事件における重要なエピソードとして世界史に刻まれていく人物であります。

そこで無償の人道行為をなした日本人外交官杉原千畝の功績をさらに広く普及するということは、「世界に評価される日本人」をさらに世界発信することとなります。外国人の方々には「日本人は自己主張しなすぎる」とよく言います。杉原千畝はいわゆる『命のビザ』の発給の経緯について生前多くを語りませんでした。杉原の沈黙は当初

いわれなき誤解を招きもしました。しかし今日は、その寡黙さが日本人の伝統的な美德と結びつけられて評価されております。この世には無名の賢者が多く存在したことは間違いありません。しかしながら、わが国の未来に暗雲が



中学生とジョイントする柏原芳恵さん

垂れ込め始めております今こそ、杉原千畝のような世界中の誰もが肯定する存在の日本人をさらに内外に知らしめることは、日本人の再評価にも繋がることではないかと私は思うのです。

岐阜県民の皆様におかれましては、郷土の生んだ世界的偉人・杉原千畝を大いに誇りに思っていたきたいと心より思うのであります。

(筆者には、NPO杉原千畝命のビザを代表する会員として投稿願いました。)